

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

【ブック・アンデパンダン展】

テレビやインターネットなどさまざまなメディアがある現代でも、本と人とは切っても切り離せないものです。本展は、作り手の顔の見える本に注目し、自作の本なら「誰でも」「どんな本でも」出展できるアンデパンダン(無審査公募展)です。集まった多くの作品によって「本の原点」を探ります。また実際に手に取って、本を読むことができるユニークな展覧会です。

■期間 11月23日～12月24日・午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)

■会場 美術博物館第1展示室・第2展示室

【古書市】 モダニズムと装幀

昨年の開催で好評を博した「古書市」。

今回は「装幀」をテーマとして、12店が知恵を絞った充実の品ぞろえで、皆さんをお迎えます。会場でお買い上げの商品は、送料一律300円でお送りしますので、ぜひ手ぶらで気軽ににご来場ください。

同時開催中の「ブック・アンデパンダン展」とともに、「本」に浸る豊かな時間をお楽しみください。

■期間 11月23日～25日・午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)

■会場 美術博物館1階ホール

*観覧料は無料。ただし「ブック・アンデパンダン展」は観覧料が必要です。

■休館日 月曜日休館(祝日の場合は翌日) ■観覧料 一般300(240)円、大生200(160)円、中学生以下無料 *()内は20人以上の団体料金

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244
Eメールashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp(伊勢町12-15)

【文学講座と創作懷石】 たつみ都志の文学に見る男と女

「ああ！夫婦・されど夫婦」

■日時 12月7日(金)正午～午後3時30分 ■会場 講義室 ■講師 たつみ都志本館副館長 ■内容 名作の中で取り上げられた男と女各々の想いとその立場等、面白くて知的で楽しい話の4回シリーズ。第2回渡辺淳一の「別れの理由」 ■受講料 5,000円(食事代含む) ■定員 24人 ■申し込み 電話・ファクス・メールで上記へ

【特別講座】 北村春江「楽しい暮らしのための法律とおかあさんのおやつ」

■日時 12月11日(火)午前10時～11時30分 ■会場 講義室 ■講師 弁護士・北村春江氏(元芦屋市長) ■内容 「親・子・孫・兄弟・楽しい暮らしのための法律」 ■受講料 3,000円(おやつ代含む) ■定員 25人 ■申し込み 電話・ファクス・メールで上記へ

【特別講座】 森山百合子パッチワーク講座(タペストリー風景)

■日時 12月8日(土)・9日(日)午前10時～正午 ■会場 講義室 ■講師 パッチワーク作家・森山百合子氏 ■内容 絵模様のパッチワーク手法で作ります ■受講料 1回3,000円(教材費含む) ■定員 16人 ■申し込み 電話・ファクス・メールで上記へ

【特別講座】 近藤知子陶芸講座(お正月からコレ！)

■日時 12月9日(日)午後1時30分～3時30分 ■会場 講義室 ■内容 お正月に使えるお皿を作ります。 ■講師 陶芸作家・近藤知子氏 ■定員 16人 ■受講料 3,200円(教材費・焼成代含む) ■申し込み 電話・ファクス・メール等で上記へ

【谷崎文学朗読会】「源氏物語」朗読「明石」

■日時 11月24日(土)午後1時30分～3時 ■会場 講義室 ■内容 朗読グループRST・松之内令子、岩佐光世による谷崎潤一郎「谷崎源氏」の朗読 ■受講料 1,000円(入館料・ドリンク代含む) ■定員 30人 ■申し込み 電話・ファクス・メールで上記へ

ルナ・ホール催し案内

いきいきシネマサロン 「武士の一分」①

譲らない心。譲れない愛。人には命をかけても守らねばならない一分がある。監督・山田洋次/出演・木村拓哉、檀れい ほか
■日時 11月17日(土)①午前10時～②午後1時～③午後3時40分～
■入場料 中学生以上1,000円(チラシまたは掲載広報紙持参の場合900円)、小学生500円<全席自由>

阪神芸術祭参加事業 第14回 芦屋能・狂言鑑賞の会②

■日時 11月29日(木)午後6時～ ■会場 ルナ・ホール ■入場料 3,500円(前売3,000円)<全席自由> ■出演 観世鍬之丞、長山禮三郎、福王茂十郎、野村萬、野村万蔵、大倉源次郎ほか
■内容 舞囃子「善知鳥」、狂言「蚊相撲」、能「船弁慶」重き前後之替

問い合わせ 市民センター ☎31-4995



ジャズピアノ★パラダイス③

ジャズ界を代表する男女のピアニストが2台のピアノで、スタンダード・ジャズを料理します。リクエストコーナーもあり、客席とステージがひとつになります。
■日時 11月30日(金)午後7時～ ■会場 ルナ・ホール ■入場料 3,000円(前売2,500円)<全席自由> ■出演 佐山雅弘、国府弘子 ■内容 テイク・ファイブ、スカラムーシュ ほか

高嶋ちさ子&加羽沢美濃

～ハートフルクラシック2008～④

ト・加羽沢美濃。期待のバイオリニスト松本蘭を加えクラシックを身近に感じるコンサート。
■日時 平成20年1月27日(日)午後3時開演 ■会場 ルナ・ホール ■入場料 3,500円(前売3,000円)<全席指定> ■出演 高嶋ちさ子(バイオリン)、加羽沢美濃(ピアノ)、松本蘭(バイオリン) ■内容 パンジョーとバイオリン(クロー)、高嶋ちさ子バイオリン講座、加羽沢美濃リクエストコーナー
*曲目等は変更になる場合があります。



高嶋ちさ子



松本蘭



加羽沢美濃

軽快なトークも魅力的な人気のバイオリニスト・高嶋ちさ子と多方面で活躍中のピアニスト

芦屋病院公開講座など

「健康教室」等を定期的に開催しています。また、会場を院外に移した公開講演会もしています。関心のあるかたはぜひご出席ください。

【健康教室】
■日時 毎月第3水曜日午後1時30分～3時
■会場 外来棟5階外科側(東側)ロビー
■内容 さまざまな疾病をわかりやすく医師、看護師等が説明

【糖尿病教室】
■日時 毎月第2金曜日午後1時30分～3時
■会場 南病棟1階講義室
■内容 食餌療法、運動療法薬の正しい使用法への理解を深める

【肝臓病教室】
■日時 奇数月第4金曜日午後1時30分～3時
■会場 南病棟1階講義室
■内容 病態、日常生活(食生活等)、薬剤に関する理解を深める

【B型肝炎教室】
■日時 11月30日(金)午後1時30分～3時
■講師 桐山和雄内科主任部長

【高槻教室】
■日時 毎月第2土曜日午前10時～正午
■会場 南館1階講義室
■定員 妊娠22週以降の妊婦とパートナー5組10人(要予約、当病院で分娩されるかた優先)

【市民ギャラリー】藤原仙人「書と墨絵」展
■日時 11月1日～30日
■会場 5階渡り廊下展示ギャラリー

芦屋病院は 地方独立行政法人化を目指します

問い合わせ 芦屋病院事務局総務課 ☎31-2156



市立芦屋病院運営検討検討委員会の「答申」 「会議録」は、芦屋病院ホームページおよび市ホームページに掲載しています。

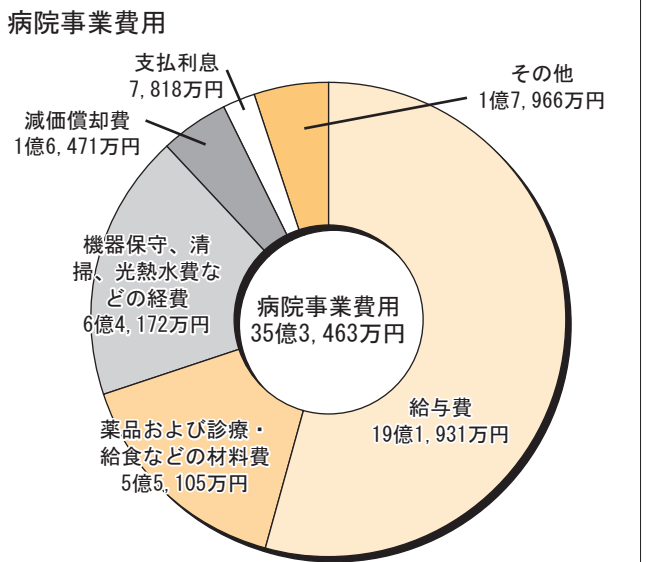
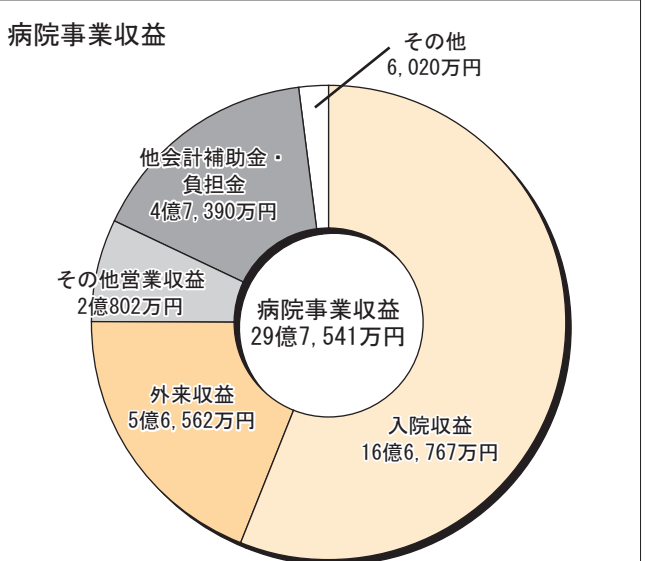
- ◆基本理念◆ 生命の尊厳を基本とし、安全で良質な医療を提供します。芦屋市の中核病院として、地域社会に貢献します。
- ◆経営理念◆ 信頼され、選ばれる市民病院をめざして
- 管理責任者として市長が理事長を任命します。
- 経営の責任と権限が明確になるとともに機動性・弾力性が増します。
- 目標管理により効率的な経営と質の高い住民サービスの提供ができます。
- ささまざまな形態の雇用が可能となり、業務量に応じた人員配置ができます。
- 年俸制、業績給、資格手当など独自の給与制度ができます。



● 脳ドックを開始しました ●

要望がありました脳ドックの体制が整いました。

- 対象 人間ドックを利用されるかた
- 費用 通常ドック料金に25,000円追加
- 内容 脳ドックの流れ(診察、診断、指導)
- ①人間ドック当日に脳MR I検査実施
- ②脳外科外来予約・受診(金曜日)
- ③脳外科医による判定を含めた報告書の送付



		平成18年度	平成17年度	増 減
入 院	延べ患者数	57,003人	62,968人	△5,965人
	1日平均患者数	156.2人	172.5人	△16.3人
	病床利用率 (230床)	67.9%	75.0%	△7.1%
外 来	延べ患者数	86,645人	103,563人	△16,918人
	1日平均患者数	353.7人	424.4人	△70.7人
診療日数		245日	244日	1日
病院事業収益		29億7,541万円	41億9,494万円	△12億1,953万円
病院事業費用		35億3,463万円	44億1,941万円	△8億8,478万円
純 損 益		△5億5,922万円	△2億2,447万円	△3億3,475万円
累積欠損金		57億3,682万円	51億7,760万円	5億5,922万円

平成18年度は、入院患者数五万七千三人と前年度より五千九百六十五人減少し、外来患者数は八万六千六百四十五人と前年度より一万六千九百十八人の減少となりました。経営状況については、病院事業収益二十九億七千五百四十一万円、病院事業費用三十五億三千四百六十三万円で、五億五千九百一十二万円の純損失となり、累積欠損金は五十七億三千六百八十二万円となりました。経営状況の悪化の要因としては、臨床研修医制度の影響による常勤医師の不足、医療制度改革の影響など的大幅な患者数の減少、医療費抑制のための診療報酬が3・16%引き下げられた影響などがあげられます。これは、全国的な傾向となっております。

平成18年度決算報告(患者数および収支)

◆芦屋病院の取り組み◆
診療科において、心臓器科および歯科を廃止し、開業医師による院内開設診療所としました。
また、患者の利便性向上のために中央採血室の設置や外来患者が投薬を調剤薬局で受け取れる院外処方全面実施、高度医療に対応した最先端の磁気共鳴診断撮影装置(MRI)の更新を行いました。
さらに地域連携室の体制整備を充実させ、地域の診療所と連携強化を図りました。

◆医療機器の整備◆
医療機器については、磁気共鳴診断撮影装置(MRI)、デジタルX線一般

芦屋病院では、これまで院内診療所の開設や全面院外処方薬を實施するとともに人件費や委託料等の削減などの経営改善に取り組んできました。しかしながら、全国的な常勤勤務医師不足や医療制度改革の影響などから、経営状況が極めて厳しい状況にあります。

そのため、市長の私的諮問機関として、六月に「市立芦屋病院運営検討委員会」を設置し、今後、公立病院としてどういう運営形態が望ましいのか、改めて検討していただきました。



検査委員会からは、病院の機能や弾力性を向上させるとともに診療報酬の改定などに的確かつ迅速に対応し、今後の国の医療制度改革などにも柔軟に対応できる「地方独立行政法人の非公務員型」へ可及の速やかに移行するよう提言がありました。

また、この委員会とは別に総務省が実施している病院事業における経営の効率化や事業の新展開等を支援する経営アドバイザーからも、「これからの病院事業を行っていくうえで、最も積極的かつ前向きな制度である地方独立行政法人非公務員型を一日も早く導入すべき」との助言を受けております。

市としては、これらことから、平成二十一年四月一日から地方独立行政法人(非公務員型)へ移行することを目指して、関連事務を進めていきます。

◆ 芦屋病院事業会計決算報告 ◆

市民の生命と健康を守るという芦屋病院の理念は堅持し、充実した医療サービスを提供します。

● 年度に縛られない弾力的な予算運用ができます。
● 複数年契約など多様な契約手法の活用ができました。
● 市長の付属機関である評価委員会が住民の視点に立つて評価しますので、業務の公共性および透明性が確保できます。

● 充実を図ります
● 医療サービスの充実を図ります

● 地域社会への奉仕の精神や医療者としての倫理を大切にします。
● 地域の皆さんに寄り添い、一人ひとりの要望を叶え、満足できる体制を作ります。

【公開講座】 診療最前線からのメッセージ

開催日	内 容	講 師
12月1日(土)	糖尿病治療の展望	金山良男副病院長
1月26日(土)	ウイルス肝炎のすべて	桐山和雄内科主任部長
2月23日(土)	タイムリーな話題を選び、直前の回にお知らせします。	
3月8日(土)		

■時間 午後2時～3時30分
■会場 市民センター218室
■費用 1,000円

【マチネーコンサート】「口笛のコンサート」
■日時 11月18日(日)午後2時30分～3時30分
■会場 外来棟5階ホール
■出演 もくまさあき(口笛)、内藤雪子(ピアノ)

○皮膚科から～巻き爪を切らずに美しく治します～○
歯並びの矯正と同様の発想で、曲がった爪の両端に針金をかけて徐々に平坦にする方法で、ドイツで生まれたVHO(巻き爪矯正術)という新しい手法です。局所麻酔なしで針金を装着し、数ヶ月に一度針金の締め直しをします。装着後も痛みはありません。施術当日から入浴、運動も可能です。優れた方法と言えるでしょう。当科でもこのVHO巻き爪矯正術ができるようになりました。お気軽にご相談ください。